

術前休薬の必要な女性ホルモン製剤一覧【経口薬】

2022年2月作成

分類	一般名	商品名	周術期、長期不動状態に関する添付文書上の記載内容		
			【禁忌】	【使用上の注意】	
卵胞・黄体ホルモン配合剤	経口避妊薬	エチニルストラジオール, ノルエチステロン	シンフェーズT28錠*	手術前4週間以内、術後2週以内 産後4週以内 長期間安静状態の患者	血栓症のリスクが高まる状態 (体を動かせない状態、顕著な血圧上昇、脱水等) では、 投与を中止するなど適切な処置を行う
		エチニルストラジオール, レボノルゲストレル	アンジュ21錠*・28錠*		
			トリキュラー錠21*・28*		
		エチニルストラジオール, デルゲストレル	ラベルフィーユ21錠*・28錠*		
	ファボワール錠21*・28*				
	月経困難症	エチニルストラジオール, トロスピレノン	ヤーズ配合錠*		
			ヤーズフレックス配合錠*		
		エチニルストラジオール, ノルエチステロン	ルナベル配合錠LD*・ULD*		
			フリウエル配合錠LD*・ULD*		
	エチニルストラジオール, ノルゲストレル	ジェミーナ配合錠*			
ブラノバル配合錠		記載なし			
骨粗鬆症	エチニルストラジオール, レボノルゲストレル	ウエルナラ配合錠	記載なし		
黄体ホルモン製剤	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル	ヒスロンH錠200mg メドロキシプロゲステロン酢酸エステル錠200mg	手術後1週間以内の患者	手術後1か月以内の患者は慎重投与	
卵胞ホルモン製剤	エストラジオール	ジュリナ錠0.5mg	記載なし	血栓症リスクが高まる状態（体を動かせない状態等）は投与中止	
	エストリオール	ホーリン錠1mg		術前、長期臥床状態の患者には慎重投与	
		エストリール錠100γ・0.5mg・1mg エストリオール錠1mg		手術前4週間以内又は長期臥床状態の患者には慎重投与	
	結合型エストロゲン	プレマリン錠0.625mg		記載なし	
	エチニルストラジオール	プロセキソール錠0.5mg**		記載なし	
SERM 閉経後骨粗鬆症	バゼドキシフェン酢酸塩	ビビアント錠20mg	長期不動状態(術後回復期、長期安静期等)にある患者	長期不動状態（術後回復期、長期安静期等）に入る前に 本剤の投与を中止し、完全に歩行可能になるまでは投与を再開しないこと	
		バゼドキシフェン錠20mg			
	ラロキシフェン塩酸塩	エピスタ錠60mg		長期不動状態（術後回復期、長期安静期等）に入る3日前には 本剤の服用を中止し、完全に歩行可能になるまでは投与を再開しないこと	
		ラロキシフェン塩酸塩錠60mg			

*：用法上の休薬期間、もしくは偽薬の服用期間は休薬期間を含む

**：周術期休薬について添付文書上記載はないが、卵胞ホルモンの含量が他の製剤と比較して多いため、血栓リスクが高いとの報告がある

術前休薬の必要な女性ホルモン製剤一覧【外用】

2022年2月作成

分類	一般名	商品名	剤形	周術期、長期不動状態に関する添付文書上の記載内容	
				【禁忌】	【使用上の注意】
卵胞・黄体ホルモン配合剤	エストラジオール・酢酸ルイステロン	メノエイドコンビパッチ	貼付剤	記載なし	術前又は長期臥床状態の患者には慎重投与 (血液凝固能が亢進され、心血管系の副作用の 危険性が高くなることもある)
卵胞ホルモン製剤	エストラジオール	エストラナーテープ			
		ディビゲル1mg ル・エストロジェル0.06%	ゲル剤		

術前休薬の必要な女性ホルモン製剤一覧【注射剤】

2022年2月作成

分類	一般名	商品名	周術期、長期不動状態に関する添付文書上の記載内容	
			【禁忌】	【使用上の注意】
卵胞ホルモン製剤	エストラジオール	プロギノン・デポー筋注10mg	記載なし	術前又は長期臥床状態の患者には慎重投与 (血液凝固能が亢進され、心血管系の副作用の危険性が高くなることもある)
		ペラニンデポー筋注5mg・10mg		
男性・卵胞ホルモン混合製剤	テストステロンエステル・エストラジオール吉草酸エステル	ダイホルモン・デポー注		
		プリモジアン・デポー筋注		